

2022年3月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	1,009,340	306,525	329.3%	37,781,753	2.7%
国内旅行	3,167,125	1,798,314	176.1%	6,890,293	46.0%
訪日旅行	53,288	5,628	946.8%	2,664,513	2.0%
合計	4,229,753	2,110,467	200.4%	47,336,559	8.9%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ5社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデートラベル、エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。また、コロナ以前と比較をするため、2019年同月比を基準に記載しております。

1. 海外旅行

新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の見直しにより、指定国以外からの帰国・入国の場合、ワクチン接種3回を条件に自宅等での隔離が免除になるなど、緩和の動きが見られたものの、「感染症危険情報レベル3」の状況が続いていた（3月時点）ことから、全方面で企画旅行を不催行としておりました。海外航空券の手配において一部の需要により、前年を上回っているものの、レジャー需要の再開には至っていないことから、コロナ以前の水準には程遠い状況が続いております。

以上の結果、海外旅行の総取扱高は、前年同月比329.3%、2019年同月比2.7%の10億934万円となりました。

2. 国内旅行

3月21日をもって、全ての都道府県の「まん延防止等重点措置」が全面解除されたことを受け、春休み・卒業旅行のシーズンである3月出発の駆け込み予約がみられました。特に、3月出発で最も多い送客数となった沖縄県においては、国内旅行需要再開を見据えて、「沖縄 LeaLea キャンペーン第2弾」を実施したことにより、2月の送客数から5倍に増加するなど、顕著な回復がみられました。また、九州、北海道など、ファミリー・学生旅行を中心とした、レンタカーによる周遊需要が高く、前年同月比で2倍以上の高い伸びを示しております。バスツアーにおいては、全国の桜特集ページの展開をはじめ、人気のフルーツ狩りなど季節限定のコンテンツを展開し、販売強化を図ったことで送客・売上増加に寄与しております。

以上の結果、国内旅行の総取扱高は、前年同月比176.1%、2019年同月比46.0%の31億6,712万円となりました。

3. 訪日旅行

新型コロナウイルスの変異株対策として2021年11月から強化していた水際対策が、3月1日から緩和され、ビジネス目的の短期滞在者に加え、留学生や技能実習生などの長期滞在者を対象に、新規入国がおよそ3か月ぶりに再開されました。それに伴い、海外からの公務案件による受け入れ者数が増加したことにより、対前年比からは大幅な伸びを示しました。

しかしながら、観光目的の新規入国は認められていない状況が続いていることにより、訪日旅行の総取扱高は、前年同月比946.8%、2019年同月比2.0%の5,328万円となりました。

以上の結果、2022年3月の旅行取扱高の総計は、前年同月比200.4%、2019年同月比8.9%の42億2,975万円となりました。

以上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス I R室：050-1746-4188
 広報室：050-1746-4177